

意見等の一覧

議題 (1)	議題 (2)	自由意見
<p>目標値が東金市のおかれていた状況からすると、意欲的に掲げられており、また東金市全体のイメージアップにも貢献していて、コロナの影響を勘案すると、より高く評価しても良いと感じる。今後とも更なる充実に向けたideaもあるようであり、市・関係者の努力に期待したい。</p>	<p>数値化を求められており、これに準拠した回答になった。市の評価は概ね妥当と考える。他方、市民の総合的な満足度は決して低くない。</p>	<p>本制度・事業の基本は、ややもすると希望する勢型、安易な成長型の将来像を描きがちな自治体に、自らの足許をしっかりと見定め、市民の立場に基づいた施策立案を期待していると理解している。この観点からすれば、東金市は誠実に応答していると思われる。</p>
		<p>自治体の取組みを資料参考に進めてきましたが、この2年間コロナ禍により取組み、活動支援等が各地区減少ぎみであった。コロナ禍が終息した時に、市の指導を受けながら、活性化を図っていきたい。 市が作成された資料については、地区の会合の時に説明し、活性化を今後も続けてまいります。</p>
<p>みのりの郷の売上額は目標に達していないが、日々訪れる人数は相当数なので、東金市を知ってもらう点では、大きなPRでありSの成果を出せたと思う。今後より一層の拡大も必要ではと思う。売場、駐車場等々。</p>	<p>高齢者の比率が多くなっていく社会状況の中、まだまだ働ける人達への仕事場が少ないと思われるので、シルバー人材センターの協力を。 農業後継者が減少する中、中高年を中心とした農業主体の企業をおこせないか。</p>	<p>なし</p>
<p>6次産業化拠点施設整備事業-みのりの郷加工施設-と地域観光プラットフォーム-観光案内所-はそれぞれ効果はあったと考えます。 但しいずれの施設も計画段階で、目標に対する効果の見極めが少し甘かったように感じられます。 「みのりの郷加工場」については、実際にそこで物づくりをするスタッフの意見をもっと反映させた方が良かったと思われる。 「観光案内所」については、みのりの郷全体の来遊者の人流を考えて設置場所や施設を検討して頂ければと思われま。現状では、みのりの郷マルシェ内の観光案内とリンクされておらず、「観光案内所」が何処にあるか判らない人もいます。</p>	<p>5つの戦略、いずれについても施策は効果があったと思われるますが、判りにくいです。行政側からの能動的な施策の効果というより、時代や社会の変化の結果として受動的な効果のように思われます。</p>	<p>みのりの郷の開業や工業団地の造成などははっきり判りますが、その他の施策は、目標に対する施策が、本当に効果的だったのか、もっと別の効果的施策はなかったか、外部者（若者、学生、民間の業者、家庭人、委員）の意見も聞いてみては如何でしょう。</p>
<p>道の駅みのりの郷東金は、地域活性化の要として今後とも引き続き充実を図っていくべきである。</p>	<p>施策の選択と集中が必要と思われる。 今回S評価やA評価となった施策について、東金市の強み・アピールポイントとなるよう更なる取り組みを望む。</p>	<p>なし</p>

議題 (1)	議題 (2)	自由意見
<p>産業化拠点施設整備事業を活用して地域資源と特産品を結び付け、交流人口を増加させ、地域活性を図ろうとした方向性や指標等は、適切な政策であった。コロナ禍のため、人々の交流を制限せざるを得ず、令和元年～令和2年の成果は厳しいものとなった。しかしながら、そのような環境においても基準時の実績を上回るものとなったことから、今後とも政策の実現に向けて努力を続け、地方創生の実現を期待したい。</p>	<p>人口減少が予測されている中、地域活性化や東金市の魅力アップにより定住人口を呼び込むとともに、観光客などの交流人口の増加を目指した方向性は妥当である。コロナ禍の前までは、ほとんど目標を実現していたものが、最近2年間は厳しい実績となった。子育てがしやすく産業を活性化させ、定住人口の増加に観光客の増加など、総合戦略として成果が上がるまでは時間がかかるが、引き続き努力されることを望みたい。全体評価としてCは妥当である。</p>	<p>数値目標に「合計特殊出生率の向上」など、短期的数値に表れにくい指標を敢えて提示するなど、意欲的な評価項目と高い数値設定には心から敬意を表すものの、短期的成果を期待できる事業や政策と長期的政策のバランスを考慮されたい。なお、長期的政策については引き続き推進されたい。</p>
<p>実績が目標を下回っているが、人の移動が大きく制限される新型コロナウイルス感染症禍という大変厳しい環境の中であっても、基準時を上回る成果を上げており、効果があったと評価する。</p>	<p>雇用の充実、安定した経済基盤を築くために重要であり、「市内事業所数」の増加について要因を分析し、今後とも事業者数の増加に向けた取組を進めていただきたい。 他方、大学をはじめとした教育機関とそこで学ぶ若者の力を活かした事業の取組みが十分ではないように見受けられるので、恒常的な連携の仕組みを構築いただきたい。</p>	<p>なし</p>
<p>内部評価と同等の「③地方創生に効果があった」とも考えます。昨年までは「コロナの影響」という説明もできましたが、今後はwithコロナの時代であります。3つの指標実績が上回るような結果を残して欲しいと思います。そのためにも6次産業化としての「加工施設」の有効利用を特に推進して欲しいと思います。お菓子の加工プラス、今後は「オーブ」さらに「プラム」や「ゆず」等の加工も良いのではないのでしょうか。(市の特産物の推進) 6月オープン予定のスターバックスコーヒー店による「KPI」項目の相乗効果も大いに期待します。</p>	<p>それぞれの項目における評価は各々S～Dまでありますが、全ての基本目標における評価が全てCの「やや下回る」結果となったのは少々残念であります。 一例ではありますが、(1)げんきづくりについて、移住定住に特化した「TOGANE LIFE」のような取り組みを交付金が終了したから止めるのではなく、「目標を超えるアクセス数があった」という事はそれなりに「本市への興味がある方がいる」という事なので、こう言った前向きな取り組み(外部発信)は継続して行うべきであると考えます。</p>	<p>なし</p>
<p>評価は数値目標をどこにおくかによっても異なる。よって、今の評価がすべてとは思わず、今後も継続して注視すべきと思う。 税金投下の費用対効果はもっと注目されるべき。</p>	<p>戦略といいつつ、数値からその内容がみえてこない。数値目標を定めた後、当然なされていると思うが、常日頃からの戦略方法についての見直しをし、達成に向けた努力を継続することが好ましい。</p> <p>※数値設定について ex.1 加工施設の活用について数値からその実績がみえない。 みのりの郷の売り上げのうち、市内産業者の売り上げがどの程度かにより、市への効果がみえるが、総額からはみえてこない。 ex.2 きづな「友好都市」 評価Aに対し、市民評価がDである事について、数値のみで市民からの評価を得るのは困難と思う。 「災害協定」等も市民にとってはプラスであると思うが、現状において、身近に感じられない様に思う。大切なことではあるが。 青少年のみならず、範囲を拡大した交流活動が大事ではないか。</p>	<p>今後、総合的に満点をとろうとする計画は無理に思う。人・金の制限される中で自治体が発展していくには、何かに特化し、その自治体の色を前面に打ち出し、そこをポイントに相対的な肉付けをしていく方向が好ましいと考える。教育か、農業か、商業か、十分に検討され重点的に資金投下をし、市としての特色を出していく。過去にしばらく、市を担う若いパワーを信じ、期待したい。またそれを支える行政は、庁内の連携、風とおしを良くし、一体となり取り組んで欲しい。</p>

議題 (1)	議題 (2)	自由意見
<p>・ 令2年度はコロナ禍の影響ということはわかるが、令和3年度の目標数値はいつ頃設定されて、その根拠をもう少し具体的に知りたい。</p> <p>・ 質問ですが、千葉県が設定した消費単価は東金市での一人1回の消費額だと思いが県ではどのように算出しているのか？各自治体で異なるのか？</p> <p>・ 各項目の基準時はいつか？（どこかで説明があったかもしれませんが・・・）</p>	<p>・ 移住定住ホームページへのアクセス件数に関して、国からの交付金が終了したので終わるといったことのようにだが、年々増えてきていて今後の見込みも高そうだと思うが、市独自の予算化で継続または発展させる考えはないのか？また、若者向けに各種SNSなどのコンテンツを充実させて発信力を高めるような考えはないのか？</p> <p>・ 市内事業者数と市内事業者従業員数の項目について、事業所の数は増えているが、従業員数はそれほど増えていないという結果だと思う。これは単に企業を誘致しても雇用はそれほど増えない。ということではないか？東金市としてはどのような産業を育成し、雇用を増やすにはどんなことをしていくのか？別項目を立てて評価していく方が良いのではないか？</p> <p>・ 地域間連系が進んでいると感じる市民割合の項目での数値とその評価がDとなっているがもう少し具体的なこの数値の根拠について知りたい。</p>	<p>地方創生の取り組みは令和3年度で終わるが総合計画との関係もあり、ここで取り組まれた各項目はこれからも継続すると考えられる。</p> <p>Withコロナ、Afterコロナの時代に、東金での影響を十分考慮して目標設定していく取り組みが大事だと思います。</p>
<p>新型コロナウイルス拡大の影響が如実で、いずれの評価指標も急落あるいは小幅な伸びに留まり目標値を下回っているが、事業開始後の状況は基準時を上回り若干の上昇傾向ももうかがえることから、一定の効果があったものと考えられる。</p> <p>オミクロン株は従来株と違った特性についても議論されているので、今後の国・県等の動向を注視し指標の回復に尽力願いたい。</p>	<p>(1) げんきづくり for VITALIZATION</p> <p>①基本目標 観光入込客数を除き、コロナ禍の影響以前も基準値を下回り横ばいもしくは悪化している状況で、総合戦略全般の各施策の効果が今一つ表れていない。</p> <p>【施策1】 若者が集う貴重な資源である市内大学との連携は、様々な起爆剤となりうるので、市の側からのさらに一歩踏み込んだ働きかけや提案等が望まれる。</p> <p>(2) みらいづくり for NEXT GENERATION</p> <p>①基本目標 子育て世代の転出入に厳しい状況がみられるが、子育て支援施策は一定程度成果を挙げており、子育てしやすい街のアピールが不足しているのでは？</p> <p>【施策1】、【施策4】 認定こども園の増設が実現した一方、令和2年度保育所待機児童の「1名」は、居住地域やソフト、ハード等種々課題はあると思うが是非とも解消すべきであった。</p> <p>(3) まちづくり for COMFORTABLE CITY</p> <p>【施策2】 げんきづくりの施策にもあった「移住定住ホームページ」はアクセス件数も多く、数少ない情報発信ツールとして有効に機能していたことがうかがえる。交付金事業の計画期間が終了したとはいえ、重点事業として継続すべきであったと感じる。</p> <p>【施策4】 「転入支援策等」についても、転入増に直接寄与しうる優先順位の高い施策と考えるが終了しており、国庫補助の有無にかかわらず事業内容、手法を工夫しながら積極的に継続すべきであったと感じる。</p>	<p>各施策の中にはコロナ禍にもかかわらず事業効果をあげ、具体的に市民生活に寄与している状況も多くみられますが、全体評価としては、「C」とならざるを得ないと感じました。特に(1)げんきづくり(2)未来づくりの基本目標の達成状況に現れた結果は真摯に捉える必要があるかと思えます。</p> <p>限られた財源の中で、交付金事業あるいは国庫補助事業であるか否かは大きなポイントであるとは思いますが、長期的視点から、困難な命題である「人口の維持」という本戦略の原点に立ち返るとともに、事業への取組み姿勢や結果を市民や転入・移住を検討しようとする人たちがどのように受け止めるのかという視点は重要であり、これらを踏まえた事業の選択と一層の推進が求められると思います。</p> <p>いただいた資料からは読みとれない様々な障害や課題があるとは思いますが、それを承知で、日頃の職員の皆様のご尽力に感謝しつつ所感を記させていただきました。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

議題 (1)	議題 (2)	自由意見
<p>新型コロナの影響があり前年度と比べて観光客、消費総額は大幅に減少。ただ、直売所における売上高は576百万円から616百万円と増加。目標額の642百万円には及ばなかったが、市全体の観光客が減りながらもコロナ禍で「巣ごもり需要」の増加を追い風として直売による売り上げを増やしたと思われ、この点は高く評価できる。また、コロナ禍の影響を受けつつも、全ての指標について実績が基準値の数値より上回った。よって「事業開始前よりも取り組みが前進・改善した」と判断して③とした。</p>	<p>全ての項目を総合的に判断し、同戦略の効果は「目標を下回っている」と判断する。特に合計特殊出生率が平成25年度の1・34から令和2年度は1・07と大きく減少。目標の1・6にはるかに及ばない。慢性的な子育て世代の転出超過にも陥っており、人口減少は他の山武郡市と同様に東金市でも最大の課題となっている。子育て支援施策に関する市民満足度の向上割合も令和2年度は44・8%と低い数値で、これもコロナ禍の影響があると思われる。市民が不満に思う現状を詳しく調査すべき。</p>	<p>なし</p>
<p>「加工施設」と「観光案内所」の整備により、交流人口の拡大と地域産業の活性化を推進するというものであったが、KPI達成にはかなり厳しい結果だったと思う。コロナ禍の影響も大きかったと思うが、東金の魅力発信の更なる努力をお願いしたい。 特産品の創出という面で若い力の参画をもっと進めていくとよいと感じる。</p>	<p>全体の評価として、目標をやや下回るCとなっていますが、施策ごとの評価でDが多いと感じる。内部評価の達成状況の判断基準がわかりづらい。市民満足度がR2(2020)の評価がかなり厳しい！ まちづくりの施策(4) 転入支援策 市独自で設けることが出来れば良いと思う。</p>	<p>個人的には達成状況がDであろうと思うものがCに評価されている項目がかなりありました。 目標値の設定が厳しすぎたのかな(？) 大きく下回った項目をどうクリアしていくか知恵をしぼって、市民の協力を得ながら一体となって良い町にしていきたい。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大もあり目標数値を上回ることはできなかったと思いますが、もしこれらの施策がなければさらに状況は悪化していただろうと推測することから③を選びました。</p>	<p>コロナ禍で世の中の状況が読みにくいところもあり、個人としては市政による行政による評価は適切に行われたと判断しています。</p>	<p>コロナ禍もあり、世の中の先行き不透明感も増している中で、まちづくりも非常に難しさが増していることと思います。しかしながら、逆に言えばこういう状況だからこそ行政の果たす役割はより大きくなり、人々が安心して暮らせるかどうか厳しく評価されていくのだと思います。大変な時期でもあり、市の行政が最後の砦となる人もいないのではないかと思います。大変だと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。 個人的な研究分野に関わる内容となりますが、成田空港に第三滑走路ができることにより千葉県も推進する物流機能がより強化されることと思います。これは東金市にとりまして大きなメリットではないかと考えています。 山武市や横芝光町などは騒音対策地域になりますが、東金市はそこから外れ、しかしながら立地的には圏央道へのアクセスも大変良いことから立地的優位を享受できる地域であると思います。このような流れをうまくつかみ企業誘致などもできるのではないかと思います。コロナ下で航空物流需要も高まったことから今がチャンスではないかと思います。</p>
<p>人口減少は経済に大きなマイナスです。総合戦略に期待するものです。</p>	<p>市民の皆様の実態感のあるものだったのか、それが検証できたのか、これからの総合戦略に活かしてほしい。</p>	<p>人口がひとり減ると、年間消費額が124万円なくなるそうです(全国平均)。1,000人いなくなると12億4千万円の消費がなくなります。対策をしっかりとしないと!!</p>